

第130回運輸政策コロキウム開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび運輸総合研究所におきまして、下記のとおり「第130回運輸政策コロキウム」を開催致します。つきましては、ご関心をお持ちの皆様のご出席を賜りますよう、ご案内申し上げます。

また、ご関心をお持ちの方々に広くご周知頂ければ幸いです。

会場の都合上、入場者数には限りがございますので、大変恐縮ですが、申込み専用 URL からお申込みくださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

「第130回運輸政策コロキウム」

日 時：2019年7月30日（火）

18:00～20:00（開場17:30）軽食をご用意いたします。

会 場：運輸総合研究所 2階 大会議室（日比谷線神谷町駅徒歩1分）

テ ー マ：「DMOが“使える”観光統計を考える」

講 演 1：「ビッグデータ時代の観光統計をどう考えるか？」

講 師 1：清水 哲夫 前運輸総合研究所研究アドバイザー

首都大学東京大学院都市環境科学研究科観光科学域教授

講 演 2：「宿泊旅行統計調査の利活用環境の改善に向けた提言

—DMOのKPI評価にどのくらい使えるか？—

講 師 2：栗原 剛 運輸総合研究所客員研究員

東洋大学国際観光学部国際観光学科准教授

コメンテータ：兵藤 哲朗 東京海洋大学海洋工学部教授

概 要： 観光庁が整備する観光統計は、ここ10年間でその充実が図られてきた。DMO等の地域観光振興組織ではKPI評価を通じたマネジメント体制の確立が求められており、現在取り組まれている観光統計の観光地単位で公表することへの期待は大きいですが、必ずしも地域観光振興組織のニーズや課題に立脚したものとなっていない。加えて、ビッグデータの利活用への期待が急速に高まっているが、その方法論については依然として大きな研究課題となっている。

本コロキウムの前半は、わが国におけるDMO関連政策と観光統計整備の現状をレビューし、ビッグデータの登場を踏まえた今後の観光統計整備のあり方について問題提起する。後半は、地域観光振興組織のデータ利活用の課題についての調査結果を示した上で、宿泊旅行統計調査を例として、KPI評価を目的とした観光地単位で公表やビッグデータ連携の可能性についての研究成果を報告する。

講師紹介：

講師 清水 哲夫 前運輸総合研究所研究アドバイザー
首都大学東京大学院都市環境科学研究科観光科学域教授

1995年東京工業大学大学院理工学研究科土木工学専攻修了，2002年に東京工業大学から博士（工学）授与。1995年東京工業大学工学部助手，2001年東京大学大学院工学系研究科助手，2003年同助教授，2007年同准教授を経て，2011年より首都大学東京大学院都市環境科学研究科教授に就任。2017年より公益社団法人日本観光振興協会総合調査研究所所長兼日本観光振興アカデミー学長を兼務。その他慶應義塾大学理工学部，ローマ大学持続開発研究センターで客員研究員，東京理科大学，東京電機大学で非常勤講師。研究分野は交通学および観光政策・計画学で，特に Intelligent Transport System，交通需要推計手法，観光統計，観光・交通行動分析，観光・交通ビッグデータを主要な研究課題としている。2010年に「観光統計を活用した実証分析に関する論文表彰」で観光庁長官賞を受賞。国土審議会計画部会自立地域社会専門委員会委員をはじめ，官公庁や自治体の多数の専門委員会で委員等を務める。



講師 栗原 剛 運輸総合研究所客員研究員
東洋大学国際観光学部国際観光学科准教授

2011年筑波大学大学院博士後期課程社会システム・マネジメント専攻修了，筑波大学から博士（社会工学）授与。2011年一般財団法人運輸政策研究機構運輸政策研究所研究員，2015年東海大学観光学部講師を経て，2019年4月より東洋大学国際観光学部国際観光学科准教授。専門分野は観光地域計画。運輸政策研究所在籍中は「地方におけるインバウンド観光の実態と効果に関する研究」を行い，研究成果を運輸政策コロキウムや九州運輸政策セミナー等で報告した。また，2018年より内閣府社会総合研究所の研究協力者として「インバウンド観光受け入れに向けた観光地のIT活用と生産性との関連分析」に取り組んでおり，インバウンド観光政策，観光政策評価，観光による経済効果検証等の研究分野に実績を有する。



コメンテーター 兵藤 哲朗 東京海洋大学海洋工学部教授

1989年東京工業大学大学院理工学研究科土木工学専攻博士課程修了，同東京工業大学から博士（工学）授与。1989年東京理科大学理工学部土木工学科助手，1991年東京工業大学工学部土木工学科助手，1993年東京商船大学流通情報工学課程助教授，2003年東京海洋大学海洋工学部流通情報工学科助教授，2007年同教授に就任。2017年日本自動車ターミナル株式会社社外取締役。研究分野は交通計画，交通調査，物流計画。「土木計画学ハンドブック（共著）コロナ社」，「道路課金と交通マネジメント（共著）成山堂」，「現在の大都市物流（共著）森北出版」，「交通工学ハンドブック・シリーズ・都市交通（共著）丸善」など著書多数。交通工学研究会・論文賞（1998年），SHARP2・Best Overall Presentation（2010年），TRB・Urban Freight Transportation Committee's Best Paper Award（2017年）などを受賞。国土交通省交通政策審議会鉄道部会臨時委員，社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会委員，同物流小委員会委員をはじめ，官公庁や自治体の多数の専門委員会で委員等を務める。



参加費：1,000円

お申込み：下記の URL よりお申し込みください

<https://krs.bz/jterc/m/collo130>

(申込期限：7月25日(木)まで)



運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

お問い合わせ：

一般財団法人運輸総合研究所 企画部 (担当：新倉^{にいくら})

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19 (虎ノ門マリビル)

TEL：03-5470-8415 FAX：03-5470-8419

E-mail：collo@jterc.or.jp

HP：<https://www.jterc.or.jp>